

令和7年 1月 23日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 戸田市まちづくり応援団

代表者職・氏名 代表 横山 誠

所在地

事業名	日本人と外国人の「やさしい日本語」を使った交流事業
実施期間	令和6年5月21日から令和7年1月20日まで

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

【やさしい日本語交流会(Meetup):日本人と外国人の交流会】

第1回「やさしい日本語交流会」Meetup

日時:令和6年6月29日(土)13:00-15:00

場所:あいパル多目的室3、4

参加者:18名

【内 容】

I 部 言語別講座「チャレンジ」

①やさしい日本語講座(4名)、②やさしい中国語講座(9名) (各30分)

講師:日本語教師 [] さん 中国語: [] さん(市内在住)

II 部 交流会(18名)(90分)

① 挨拶、Meetupの目的の共有

② テーブル毎にアイスブレイク(自己紹介など)

③ テーブル毎にディスカッション

テーマ「考えよう!防災について」

3つの質問について考え、各自の答えに耳を傾けた。また、外国人には耳慣れない「氾濫」や「災害」という日本語について解説した。

a) 荒川が氾濫するかもしれないことを知っていますか?

b) 大雨で荒川が氾濫するかもしれない!そんなとき、何をしますか?

c) 日本は災害が多い国です。災害について心配なことはありますか?

④ 話した内容や感想をテーブル毎に発表し、共通する課題や気づきを共有

⑤連絡事項とアンケート、「やさしい日本語缶バッジ」のプレゼント

・連絡事項:毎月のランチMeetupの告知。ボランティア診断チャートの紹介。

- ・アンケート:google フォームによるアンケート
- ・「やさしい日本語缶バッジ」のプレゼント:日本人用、外国人用を用意

【事業の成果】

今回の Meetup は SDGs の『【10】人や国の不平等をなくそう、【11】住み続けられるまちづくりを、【17】パートナーシップで目標を達成しよう』を意識して企画した。

第Ⅰ部の講座では、「やさしい日本語講座」に加え、「やさしい中国語講座」を行い、簡単な挨拶、日常生活で使える会話を学んだ。中国語講座の講師は毎月のランチ Meetup に参加している市内在住の中国人女性が担当した。初めての外国語講座であったが、参加者一同、楽しいひと時を過ごしたが、それ以上に、自分の母語や文化を日本人に紹介できた講師が喜んでいた姿がとても印象的であった。会の目的である「参加から参画、協力、協働の実践」が達成できたと思う。

第Ⅱ部は、テーブルごとの交流とディスカッションを行った。テーマは「防災」。戸田市に住む以上無関係ではいられないテーマである。3つの質問を用意したが、そもそも防災に関する単語がわからない参加者も多く、最初に語彙の説明を行い、テーブルごとに各自の思いをシェアした。

第Ⅱ部では、長期滞在者(国際結婚、就労ビザ保有者等)と一時的な滞在者(留学ビザ等)では情報量や意識に大きな差があることがわかった。こうした課題を毎月のランチ Meetup で取り扱って行きたい。

今回も地元の自家焙煎工房「まめぞう」さんに声がけし、コーヒーを出そうと考えたが、店主から「気温が上がるとホットコーヒーの需要が減る」ことを伺い、冷たい飲料水に切り替えた。確かに、アジアの留学生たちは余りコーヒーを飲まない。提供する飲料水の種類にも知恵が必要であることを気付かされた。

【参加者の声】 ※google フォームによるアンケートより抜粋

- ・ドイツの事がよくわかりました。(同じテーブルにドイツ人の参加者がいた)
- ・すごい!
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・防災の話を皆さんで話し合えたのは良かったです。
- ・国籍を問わず、時を分かち合えた事が良かった。
- ・「やさしい日本語」を読んでみます。(講座で紹介された本のこと)
- ・日本人と話せたのでうれしいです。

第2回「やさしい日本語交流会」Meetup

日時:令和6年9月14日(土)13:00-15:00

場所:あいパル多目的室 4、5

参加者:16名

【内 容】

I 部 言語別講座「チャレンジ」

- ① やさしい日本語講座(2名) ②やさしい中国語講座(6名) (各 45 分)

講師:日本語教師 ■■■■■さん 中国語: ■■■■■さん(市内在住)

途中休憩(15分)

II 部 交流会 (16名) (60分)

- ① 挨拶、Meetup の目的の共有
- ② テーブル毎にアイスブレイク(自己紹介等)
- ③ テーブル毎にディスカッション

テーマ (1)「日本と中国での漢字の意味の違い」

日本と中国の漢字の意味の違いをクイズ形式で行った。

(2)「戸田市での生活」

ゴミ出し、行政手続き、病院、出産、駅などで「困ったこと」などをあげ、どの様に対処したら良いかを話し合った。

- ④ 話した内容について、テーブルごとに発表
- ⑤ 連絡事項とアンケート、「やさしい日本語缶バッジ」のプレゼント

連絡事項:毎月のランチ Meetup のお知らせ。ボランティアの募集。

アンケート:google フォームによるアンケート

やさしい日本語缶バッジのプレゼント:日本人用、外国人用を用意

【事業の成果】

今回も SDGs の 3 つの目標を意識して企画した。

第 I 部は前回同様、やさしい日本語講座に加え、やさしい中国語講座を実施し、市内在住の中国人女性に講師をお願いした。この方は大学時代に外国人に日本語を教える授業を受けていたようで、とても喜んで講師を引き受けてくださった。今回は日本人に中国語を教えるクラスであったが、今後は外国人を対象にした「やさしい日本語講座」を増設する事も可能だと考えている。やさしい中国語講座では今流行りの「町中華」の場面を想定し、メニューの読み方やオーダーの仕方を学んだ。参加者の中には、行きつけのお店で中国語でオーダーして、「マスターを驚かせてみよう」という方もいた。その一方、やさしい日本語講座は参加者が2名で、多文化共生を意識する市民が少ないのか、情報発信に問題があるのか、今後の課題である。

第 II 部では、これまで中国人参加者が多い傾向があるので、両国で用いられている「漢字」を題材に、それぞれの文化の違いを共有した。また、「戸田市での生活」をテーマに、在住の外国人が普段感じている不便や不満、日本人住民が感じている思いを、「思いやり」と「共感」をもって共有した。多文化共生は綺麗事では済まない面があるが、互いに向き合う「場」を作りつつ、具体的な協働に結びつけたいと思う。ちなみに、ランチ Meetup には、帰化された中国人家族が参加しており、彼は市内在住の中国人がゴミ出しや買い物で、日本のルールを守ることが出来る

ように自宅に招き、ゴミの出し方などをレクチャーしている。こうした市民リーダーと共に今後の活動を続けていきたい。また、定期的に市会議員、県会議員さんたちも参加してくださり、市民団体として大変励まされる。

【参加者の声】 ※google フォームによるアンケートより抜粋

- ・楽しかったです。新しいことを勉強いたしました。
- ・楽しく会話できた。
- ・以前から興味があったので参加できて嬉しかったです。職場ではもちろん、日頃の生活の中で意識して使っていきたいとおもいます。
- ・外国人との交流も含め、初めて会う方との交流が出来て良かったです。
- ・みんな優しいです!お菓子も美味しかった。
- ・久しぶりに参加できて良かったです。
- ・面白い、日本語で話す機会がありますので、よかった。
- ・中華料理屋さんで使える言葉を覚えることができました。早速使いたいです!
- ・2カ国の人と話しができてとても良かった。
- ・お月見の題材があったので、話がはずみました。

第3回「やさしい日本語交流会」ランチ Meetup 「みんな de クリスマス」

日時:令和6年12月14日(土)12:00-15:00

場所:戸田福音自由教会 多目的スペース、礼拝堂

参加者:18名

【内 容】

1. 「おにぎり」作りにチャレンジ(60分)

講師+食材寄付:中村かおる氏(市内保育園調理スタッフ)

外国人参加者が、色々な具(梅干し、おかか、昆布、ツナマヨ)を入れた「おにぎり」を握る企画。最初に講師が日本の食文化について紹介し、次におにぎり作りを指導。最後に参加者がひとりひとりおにぎりを握った。

2. 交流会(60分)

おにぎり作りの感想を聞きながら、自由に歓談し、おにぎりやピザ等を食べた。

3. 日本の伝統芸能「落語」を聴こう(40分)

落語:福音亭ばすた(淵野弘司さん) 小話と自作落語

長テーブルに赤い敷物を敷き、その上に赤い座布団を置き、着物姿の演者がお囃子の音色(CD)に合わせて登場。小話と外国人でもわかるやさしい自作落語を披露。初めて生(なま)の落語を聞いた参加者(日本人も外国人も)には大好評。

4. 交流会 (20 分)

自由歓談と片付け

【事業の成果】

当初の予定を変更し、戸田福音自由教会をお借りして本物のクリスマスを体験しつつ、前 2 回の Meetup による「座学」方式から、日本の食文化、日本の伝統芸能を「リアルに体験」する企画とした。変更理由は 4 つ。座学方式で行った第 1 回、第 2 回の Meetup 参加者に、リアルな体験(おむすび作り)、生きた日本語(落語)に触れて頂きたいと考えたからである。2 つ目は、落語、おにぎり作りがインバウンドの旅行客に大変人気があると知ったからである。そして 3 つ目は Meetup では相手に合わせたスピードで、短いセンテンスで話す事を心がけているが、落語という日本の伝統話芸に触れることで日本語の持つ表現の豊かさに触れて頂ければと願ったからである。そして最後に新たな参加者を獲得するためである。

当日は、クリスマスの装飾が施された教会での「おにぎり作り」と「落語」は、まさに多文化共生をリアルに体験する良い機会となった。参加者(外国人)は、予想通り、初めてのおにぎり作りに苦戦し、出来上がりも様々な形であったが、講師の中村氏が優しく丁寧に指導してくださり、笑いの絶えない和やかな時となった。具の一番人気はツナマヨであった。

ランチ交流の後、落語を聴いて頂いたが、こちらは参加者一同(日本人も)、初体験であった。当初、外国人が日本語の小話を聞いて理解出来るかと心配であったが、皆さん大笑いをし、真剣に落語に聞き入る姿が印象的であった。クリスマス装飾で彩られた礼拝堂で聴く落語は、参加者にとっても多文化共生を感じる良い機会となったのではないかと感じた。普段の Meetup は、「あいパル」を使用しているが、企画や目的に合わせて市内の各所で開催することも有益であると感じた。

【参加者の声】

- ・楽しかった。
- ・はじめて参加したが、とても楽しかった。次も参加したい。
- ・日本の伝統に触れてもらえて良かった。
- ・はじめてのおにぎりは少しむずかしかった。
- ・らくごがたのしかった。
- ・きょうかいにはじめてきた。
- ・おにぎりはおいしい。
- ・いろいろな国のお菓子が美味しかった。
- ・子どもの頃に行っていた教会を思い出した。
- ・国籍を超え、一緒に笑うことが出来た。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
5 月 10 日-20 日	【打ち合わせ】プログラム、やさしい外国語の選定、講師検討等
5 月 24 日	チラシ作成
5 月 29 日	資料作成
6 月 29 日	買い出し
6 月 29 日	第 1 回やさしい日本語交流会 Meetup
6 月 29 日	反省会と次回打ち合わせ
7 月 20 日	会場の予約
8 月 1 日-10 日	【打ち合わせ】プログラム、外国語講座の検討と講師検討
8 月 15 日	チラシ作成
9 月 10 日	缶バッジ制作
9 月 13-14 日	買い出し
9 月 14 日	第 2 回やさしい日本語交流会 Meetup
10 月 19 日	【打ち合わせ】内容、プログラム
11 月 15 日	チラシ作成(カラーコピー)
11 月 16 日	【打ち合わせ】内容、プログラム
12 月 13 日	買い出し
12 月 14 日	第 3 回やさしい日本語交流会「みんな de クリスマス」
12 月 14 日	反省会

3 事業の実施体制

第 1 回やさしい日本語交流会 Meetup

毎月のランチ Meetup に参加しているボランティアと共に計画を立案、運営、実施した。やさしい中国語講座の講師は「ランチ Meetup」に参加している一般の中国人に依頼。当日の会場設営、撤収はボランティアが行った。

第 2 回やさしい日本語交流会 Meetup

毎月のランチ Meetup に参加しているボランティアと共に計画を立案、運営、実施した。やさしい中国語講座の講師は「ランチ Meetup」に参加している一般の中国人に依頼。当日の会場設営、撤収はボランティアが行った。

第 3 回やさしい日本語交流会「みんな de クリスマス」

毎月のランチ Meetup に参加しているボランティアと共に計画を立案、運営、実施した。今回は会場の戸田福音自由教会さんに全面的に協力して頂き、台所、集會室、礼拝堂と各施設の利用を快く許可して頂けた。おにぎり作りの中村氏、落語の渕野氏とも集會の意図に賛同され、快く協力して頂けた。当日の会場設営、撤収はボランティアが行った。

4 反省点と課題

第1回やさしい日本語交流会 Meetup

前回同様、集客に課題を感じた。ことに市内在住の外国人に情報を伝え、参加を促すための工夫が必要である。戸田市国際交流協会でチラシを配布して頂いたが、それだけでは参加を見込むことは難しかった。

第2回やさしい日本語交流会 Meetup

告知と集客に課題があるため、今回は SNS の発信を委託し、広く情報を発信したが、具体的な成果には至らなかった。継続的な取り組みが必要と考えられる。やさしい日本語講座への参加者が減少の傾向にあるが、今後、多文化共生社会への市民関心を高める取り組みが必要かと思われる。

第3回やさしい日本語交流会「みんな de クリスマス」

12 月は日本語学校の冬休みのため、集客に苦戦した。またボランティアも体調不良や所用のため、当初見込んだ参加者数に至らなかった。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000-	50,000-	0-	
	その他				
自己資金			1,141-	1,141-	一般会計より
会費（参加費等）		6,000-	0-	▲6,000-	
利用者負担金（売上等）		15,000-	6,300-	▲8,700-	受講料 300×21 人
協賛金・寄附		13,000-	0-	▲13,000-	
その他					
合 計		84,000-	57,441-	▲26,559-	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補助 対象 経費	使用料	14,130-	10,740-	3,390-	会場使用料 (1)3,610- (2)4,330- (3)2,000- 駐車場使用料 (1)300- (2)500-
	食糧費	9,000-	9,871-	▲871-	(1)1,394- (2)3,779- (3)4,698-
	印刷製本費	10,010-	7,440-	2,570-	チラシ印刷代 (1)3,270- (2)1,670- (3)2,500-
	委託費	19,000-	5,848-	13,152-	チラシ制作委託費 (1)2,013- (2)535- SNS 発信委託費 (3)3,300-
	消耗品費	1,780-	9,742-	▲7,962-	(1)5,035- (2)4,707-
	謝礼金	15,000-	13,800-	1,200-	講師謝礼 (1)5,200- (2)3,600- (3)5,000-
	保険料	1,680-	0-	1,680-	
	小 計	70,600-	57,441- ※	13,159-	※支出額内訳 補助金充当額 : 50,000- 自主財源 : 7,441-
補助 対象 外 経費	その他	1,400-	0-	1,400-	
	謝礼金	12,000-	0-	12,000-	
小 計		13,400-	0-	13,400-	
合計		84,000-	57,441-	26,559-	